

〈有形文化財 歴史資料〉

名 称	熊取村志関係資料
	郷土調査資料 1冊
	熊取郷土調査 基本編 1冊
	熊取村志 原稿 1冊
所在地	熊取町五門西1丁目（熊取交流センターにて保管）
所有者	熊取町教育委員会
説 明	

大阪府下の自治体史誌については、明治36年（1903）に刊行された『大阪府誌』を先駆けに、府内の自治体において郷土史の編纂がさかんに奨励され、第一次世界大戦後の民力涵養運動の影響もあって、大正末期にピークを迎えた。その後、昭和5年（1930）以降、泉南地方においても町村史誌がさかんに刊行されるようになり、熊取では南川幸助をはじめとする小学校教員が中心となって、昭和7年（1932）に熊取村志の編纂事業がはじまり、史料の調査・蒐集が行われた。完成までに3年を要したが、同9年（1934）6月、『熊取郷土調査 基本編』（謄写版刷りB5判・321頁）として発行者大阪府泉南郡熊取尋常高等小学校名で刊行された。

その内容は、第一章から第十章で構成され、南川ら教員の郷土への熱意が読み取れるものになっており、第一章 郷土の歴史、第二章 郷土の自然、第三章 郷土の住民、第四章 交通、通信、第五章 村治一斑、第六章 郷土の官公署、第七章 郷土の公共団体、第八章 郷土の教育、第九章 郷土の産業、第十章 郷土民の生活、附録となっている。また熊取の風景や、建物、祭礼、学校、人物の写真等142点が掲載され、なかには堺や岸和田、泉佐野、貝塚等の写真数点が含まれており、当時の泉州地方の歴史を写真でうかがい知ることができる貴重な資料といえる。

この編纂事業は昭和7年度から9年度にかけて行われたが、「熊取村役場文書」の熊取村歳入歳出決算書（臨時費）によると、村志編纂にかかった費用として、合計860円96銭が支出されている。その内訳は昭和7年が199円40銭、同8年が原稿代・印刷代で383円6銭、同9年写真代・製本代・半紙代で278円50銭である。村志の写真については、残っている請求書から大阪市内の業者によって写真撮影が行われたことがわかる。この史料の蒐集過程で、降井家書院が桃山時代（現在は江戸初期）の建築であることが判明し、来迎寺においては応永31年銘（1424）の鬼瓦が発見された。

『熊取郷土調査 基本編』のほかの二冊については、『郷土調査資料』は編纂過程で作成された稿本と考えられ、また昭和10年（1935）3月作成の『熊取村志 原稿』は、内容が『熊取郷土調査 基本編』と酷似しており、南川が『熊取郷土調査 基本編』からさらに再編し、『熊取村志』の原稿となったものであると考えられる。なお『熊取村志』自体は現存していない。

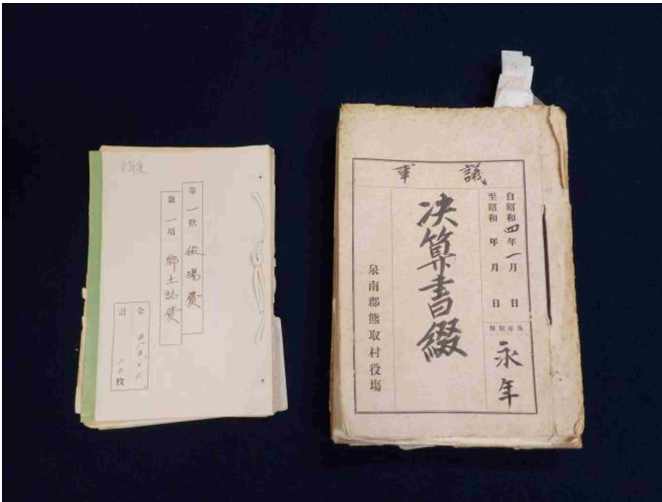
『熊取村志』は村会議員や村内の有力者、他の町村に配布したとされており、この取り組みが他の町村の参考になり、その一例が昭和10年に刊行された岸和田の『山直郷土誌』である。

こうしたことから、熊取村志関係資料は昭和初期までの熊取の歴史をあらゆる項目を詳細に網羅していること、また周辺の自治体に与えた影響は大きいということもあわせ貴重な資料といえる。

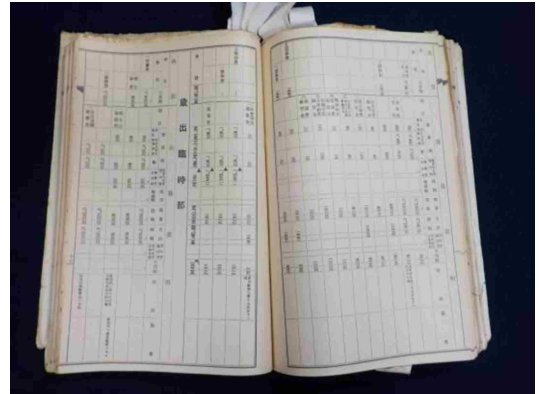


左から『熊取村志 原稿』、『熊取郷土調査 基本編』、『郷土調査資料』

(参考資料)



熊取村役場文書『決算書綴』



『決算書綴』の郷土誌費の項

熊取郷土調査 基本編 掲載写真一覧

仮通し No.	仮通し No.2	目次掲載名	本編掲載名	備考
001	1	日根対山の書	日根対山之書	
002	2	木積の釘無堂	釘無堂	
003	3	茅渟宮旧跡(上之郷)	茅渟宮旧跡	
004	4	お夏清十郎之墓	お夏清十郎之墓	
005	5	葛城山のブナ林	葛城山のブナ林	
006	6	堺妙国寺の蘇鉄	妙国寺の蘇鉄	
007	7	西葛城村秋山口に於て発見せし不整合地点	西葛城村秋山口にて発見せられし水成岩、火成岩の不整合地点	
008	8	雨山城の碑－朝代村外	雨山城碑	
009	9	愚白和尚の師事せる心越法師の書	愚白和尚の師事せし心越法師の書	
010	10	雨山城主橋本正高の使用せし茶釜	雨山城主橋本正高の使用せし茶釜	
011	11	本村に於ける煙草の栽培と玉葱小屋に玉葱貯蔵の状	煙草栽培と玉葱貯蔵小屋	
012	12	熊取校運動場の一角に在る忠魂碑	忠魂碑	
013	13	青年訓練所生徒会礼－夜間	青訓会礼	
014	14	全 教練	青訓教練	
015	15	大久保南方の高地より雨山を眺む	大久保南方より雨山を望む	
016	16	中家正門	中家正門	
017	17	中瑞雲齋の功に依り建設せられたる白峯宮	中瑞雲齋の功により建設せられたる白峯宮正門	
018	18	中瑞雲齋の功に依り建設せられたる白峯宮	全 拝殿	
019	19	大阪府鳥瞰写真	大阪府鳥瞰写真	
020	20	雨山より見たる熊取村全景【左】	雨山より眺めたる熊取村全景【左】	
021	21	雨山より見たる熊取村全景【右】	雨山より眺めたる熊取村全景【右】	
022	22	熊取校初代校長 石原幸太郎氏	熊取校初代校長石原幸太郎氏	
023	23	全 二代校長 久保太市氏	二代目校長 久保太市氏	
024	24	熊取小学校講堂内部	講堂	
025	25	北方丘陵より眺めたる熊取校全景	北方丘陵より眺めたる熊取校全景	
026	26	原翁の碑	原翁之碑	
027	27	本村功労者原勝藏翁	本村功労者原勝藏翁初代村長	碑文には「造」が使われている。「蔵」は誤りか？
028	28	前村長義本一氏	前村長 義本一氏	
029	29	原定吉翁	原定吉翁	
030	30	五百年前の村界石	「鷲がとまり」の畠にて、文化亥の年発掘せし分境石	
031	31	雨山龍王殿の柱	雨山龍王殿の柱	
032	32	大砲	【なし】	
033	33	【なし】	【なし】	【瑞雲齋の書】

熊取郷土調査 基本編 掲載写真一覧

仮通し No.	仮通し No.2	目次掲載名	本編掲載名	備考
034	34	中瑞雲斎肖像	中瑞雲斎肖像	
035		中瑞雲斎の書(三つ)	岡本黄石之書	【写真欠落か】
036	35	中瑞雲斎の書(三つ)	墨浦半江之書	
037	36	中瑞雲斎の書(三つ)	小小学人、奥野純は中瑞雲斎を訪ひし節、中氏に送りし書なり	
038	37	今川吉之の書	今川吉之書	
039	38	中左近家康公より賜りたる短刀	中辰之助氏所蔵の宗近の短刀	
040	39	孝明天皇に献上せし内紫の木		【此の木になりし内紫を孝明天皇に献上】
041	40	横井小楠を刺せし鎗先	横井小楠を刺せし志士その鎗の鋒先を中瑞雲斎に預けて逃ぐ	
042	41	【なし】	中瑞雲斎の絶筆	
043	42	中辰之助氏	中辰之助氏	
044	43	家康公筆蹟と唐より渡りし蜀光の錦	家康公筆蹟と唐より渡りし蜀光の錦	
045	44	中盛彬之肖像	中盛彬之象像	
046	45	犬追物 中盛彬の作りしもの	犬追物の実景	
047	46	犬追物 中盛彬の作りしもの	犬追物の附図 薩州古傳	州は原文は刀3つ
048	47	【なし】	中盛彬之碑文	
049	48	降井家書院	桃山時代の建築 南より見たる降井家書院全景	
050	49	降井家書院	降井家書院壁画 違棚、袋戸	
051	50	降井家書院	桃山時代の特徴あらはれたる上段の間の欄間 剣菱模様	仮通しNo.54と逆か
052	51	降井家書院	同書院のサヤの間と鏡戸	
053		降井家書院	狩野派の特徴あらはれた、床、違棚の堂々たる張り壁	【写真欠落か】 棚は原文では柵
054	52	降井家書院	サヤの間両側の鴨居にある竹の堅格子と雲模様の欄間	仮通しNo.51と逆か
055		降井家書院	袋戸は芦と萩と竹との交ぜ張り 引手は団扇の模様を嵌め実にくったものである	【写真欠落か】 嵌の山冠は原文では竹冠
056	53	降井家書院	北より見たる書院の全景	
057	54	降井家書院	中盛彬の写せしもの	
058	55	弘誓寺住持根来藤左エ門の子孫	弘誓寺住持	
059	56	阪上傳右エ門義駿の肖像	阪上傳右衛門義駿の肖像	
060	57	古劔をまつれる御社	古劔をまつれる御社	
061	58	阪上田村麻呂の佩刀	広江貢氏が阪上家に持ち来りし父祖傳來の古劔 阪上田村麻呂佩刀也	
062	59	原凌雲院の肖像	凌雲院肖像	
063	60	原樞叢院肖像 及一代記【1】	樞叢翁肖像	
064	61	原樞叢院肖像 及一代記【2】	樞叢院一代記	
065	62	原樞叢院肖像 及一代記【3】	翁が旧里に販りし時の家	

熊取郷土調査 基本編 掲載写真一覧

仮通し No.	仮通し No.2	目次掲載名	本編掲載名	備考
066	63	原樞叢院肖像 及一代記【4】	七、八才頃正永寺へ手習いに通ふ	
067	64	原樞叢院肖像 及一代記【5】	資本なきを以て綿種子買ひをはじめ	
068	65	原樞叢院肖像 及一代記【6】	十三才の時父に乞い商賣を以て家を 超さんとす	
069	66	原樞叢院肖像 及一代記【7】	十六才の時木綿商を始め暁に家出 て、大阪に行き木綿をうり夜家に販る を常とす 此の時始めて田地一段を買 ふ	
070	67	原樞叢院肖像 及一代記【8】	二十才の時易者曰く、士とならば万石 以上の大名とならんと、	
071	68	原樞叢院肖像 及一代記【9】	三十才の時の醸酒業を始め後数年を 経て搾油業をはじめ家益々富む	搾は原文では、手偏が無い
072	69	原樞叢院肖像 及一代記【10】	元日の朝粥の中に油をこぼせし女中 を叱らず、油を買(粥)への佳兆なりとて 油をかい、又富をいたす	
073	70	原樞叢院肖像 及一代記【11】	翁六十才の時財を州府に輸し民用に あつ、賞として五十人口を給ふ	
074	71	原樞叢院肖像 及一代記【12】	八十七才の時八十八才の祝をなす	
075	72	紫宸殿の畳表【1】	紫宸殿の畳表	
076	73	紫宸殿の畳表【2】	【なし】	【文化十癸酉三月上旬 京都御所紫宸殿御畳表 (裏書)】
077	74	山岡鉄舟の書(古行宮)	山岡鉄舟の書	
078	75	白河法皇行幸の御門	白河法皇御行幸の御門	
079		【なし】	電気の実験せし青雲主人の書	【写真欠落か】
080	76	天の火を取りたる巨松	天の火を取りたる巨松	
081	77	大森神社	大森神社之図	
082		【なし】	大森神社の初代神主 根来藤左エ門 氏	【写真欠落か】
083	78	大森神社二代目神主矢野越氏	第二代の神主矢野越氏	
084	79	秋祭地車大宮境内に入る	九月廿七日祭礼に大森神社境内に、 地車十三台集りたる壯観	
085	80	愚白和尚之木像	愚白之木像	
086	81	愚白の書 其他二【1】	能登の総持寺出火の際注ぎし焼石	
087	82	愚白の書 其他二【2】	愚白之書	
088	83	愚白の書 其他二【3】	支那曹洞宗嗣祖心越禪師支那へ販る 時愚白和尚長崎まで送り別るゝ時形見 に貰ひし瓦鉢とその由緒書	
089	84	成合寺	成合寺	
090	85	木庵の書	木庵の書←	
091	86	月舟の書	月舟の書↑	
092	87	月舟の書	月舟の書→	
093		月舟の書	月舟の書↓	【写真欠落か】
094	88	慈照寺の鐘と山門【1】	慈照寺の鐘	
095	89	慈照寺の鐘と山門【2】	慈照寺の山門	

熊取郷土調査 基本編 掲載写真一覧

仮通し No.	仮通し No.2	目次掲載名	本編掲載名	備考
096	90	七山病院全景【1】	七山病院全景【右】	
097	91	七山病院全景【1】	七山病院全景【左】	
098	92	病院本館正面	本館正面	
099	93	貫名菘翁先生の書	貫名菘翁先生の書	
100	94	建武石地藏を安置せる小堂及び石造【1】	地藏菩薩の石像を安置せる小堂	
101	95	建武石地藏を安置せる小堂及び石造【2】	石像	
102	96	黙庵の墓石	興正寺黙庵の墓石	
103	97	黙庵和尚の肖像	興正寺所蔵黙庵和尚の肖像彫刻	
104	98	来迎寺アミダ堂	雨山城の一閣を和田村に移し来迎寺の本堂を建つ	
105	99	アミダ如来像【1】	藤原時代の作と云はれる和田村来迎寺の阿弥陀佛	
106	100	アミダ如来像【2】	全上拡大せる写真	
107	101	応永三十二年の鬼瓦【1】	全上屋根を行基葺にせし応永三十二年の鬼瓦【上】	
108	102	応永三十二年の鬼瓦【2】	全上屋根を行基葺にせし応永三十二年の鬼瓦【下】	
109	103	【なし】	来迎寺阿弥陀佛の傳説	
110	104	行基瓦	【なし】	
111	105	鉄州和尚の墓石	鉄州和尚の墓石	
112	106	金剛法寺の鐘	金剛法寺の鐘	
113	107	まれくす堂と石地像【1】	まれくす堂	
114	108	まれくす堂と石地像【2】	まれくす堂内の石像	
115	109	雨山の遠望	成合村より雨山城の遠望	
116	110	雨山上の八大龍王を祭る鎮守	雨山の頂上	
117		【なし】	雨山城龍王殿の柱	【写真欠落か】
118	111	平福寺の鐘	北林山平福寺の鐘	
119	112	降井家墓碑	降井家墓碑	
120	113	天文石地藏及び供養碑【1】	(左)天文供養碑	
121	114	天文石地藏及び供養碑【2】	(右)天文十六年石地藏	
122	115	弘法大師の作なる弁財天	【なし】	
123	116	【なし】	【なし】	【郷土の自然】
124	117	青年団設立当時の五門支部員	青年団設立当時の五門支部員	
125	118	神無月花壇開墾記念撮影	神無月花壇開墾記念撮影	
126	119	前期男子部農業実習	前期男子部農業実習	
127	120	中公会	中公会	
128	121	公民女子部農業実習	公民女子部農業実習	

【 】は、当課にて注釈として加筆

熊取郷土調査 基本編 掲載写真一覧

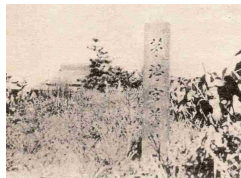
仮通し No.	仮通し No.2	目次掲載名	本編掲載名	備考
129	122	全 裁縫実習	公民女子裁縫実習	
130	123	全 割烹実習	中公後期割烹実習	
131	124	一斉作業 一	一斉作業 一	
132	125	一斉作業 二	一斉作業 二	
133	126	一斉作業 三	一斉作業 三	
134	127	全校職員児童朝会衆並に遥拝	全校職員児童朝会衆神宮並に宮城遥拝	
135	128	児童学習発表	講堂内に於ける児童学習発表	
136	129	本校正門	本校正門	
137	130	御眞影奉安殿	御眞影奉安殿	
138	131	義本酒店 醸造場	義本酒店 醸造場	
139	132	発酵場	全 発酵場	
140	133	搾取場	全 搾取場	
141	134	罎詰場	全 罎詰場	
142	135	中林工場 機場	中林工場 機場	
143	136	仕上場	全 仕上場	
144	137	チキリ場	全 チキリ場	
145	138	盆踊 一	【なし】	
146	139	盆踊 二	【なし】	
147	140	秋祭の地車	【なし】	
148	141	【なし】	【なし】	【鐘楼】
149		【なし】	鍬	【写真欠落か】
150	142	【なし】	【なし】	【大久保の中谷、籠谷に掘り出せし鋤先】



001日根対山之書



002釘無堂



003茅葺宮旧跡



004お夏清十郎之墓



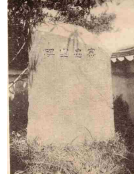
005葛城山のブナ林



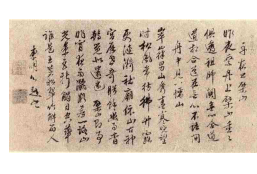
006妙国寺の蘇鉄



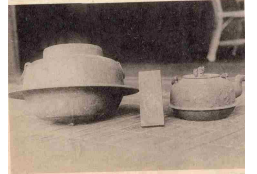
007西葛城村秋山口にて発見せられし水成岩、火成岩の不整合地点



008雨山城碑



009愚白和尚の師事せし心越法師の書



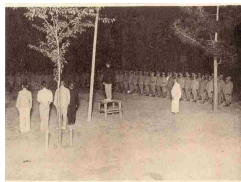
010雨山城主橋本正高の使用せし茶釜



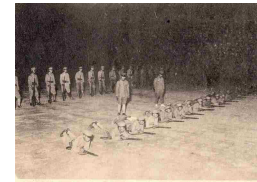
011煙草栽培と玉葱貯蔵小屋



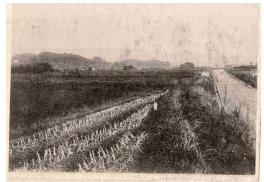
012忠魂碑



013青訓会礼



014青訓教練



015大久保南方より雨山を望む



016中家正門



017中瑞雲齋の功により建設せられたる白峯宮正門



018全 拝殿



019大阪府鳥瞰写真



020雨山より眺めたる熊取村全景【左】



021雨山より眺めたる熊取村全景【右】



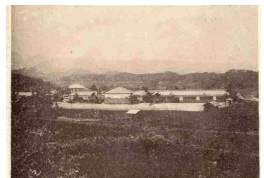
022熊取校初代校長石原幸太郎氏



023二代目校長 久保太市氏



024講堂



025北方丘陵より眺めたる熊取校全景



026原翁之碑



027本村功勞者原勝藏翁 初代村長



028前村長義本一氏



029原定吉翁



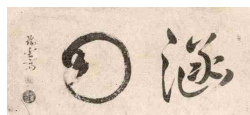
030「鷺がとまり」の墓にて、文化亥の年発掘せし分境石



031雨山龍王殿の柱



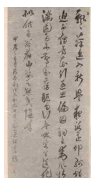
032【瑞雲齋が大和丹原村で試射した大砲】



033【瑞雲齋の書】



034中瑞雲齋肖像



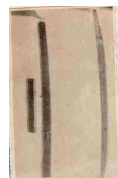
036墨浦半江之書



037小山人、奥野純は中瑞雲齋を訪ひし節、中氏に送りし書なり



038今川吉之書



039中辰之助氏所藏の宗近の短刀



040【此の木になりし内紫を孝明天皇に献上】



041横井小楠を刺せし志士その鎗の鋒先を中瑞雲齋に預けて逃ぐ



042中瑞雲斎の絶筆



043中 辰之助氏



044家康公筆蹟と唐より渡りし蜀光の錦



045中盛彬之肖像



046犬追物の実景



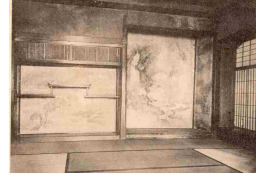
047犬追物の附図 薩州古傳



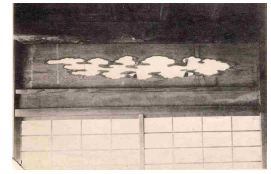
048中盛彬之碑文



049桃山時代の建築 南より見たる降井家書院全景



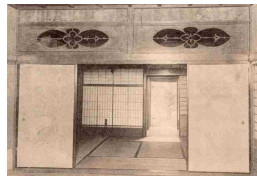
050降井家書院壁画 違棚、袋戸



051桃山時代の特徴あらはれたる上段の間の欄間 剣菱模様



052同書院のサヤの間と鏡戸



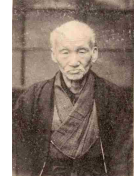
054サヤの両側の鴨居にある竹の堅格子と雲模様の欄間



056北より見たる書院の全景



057中盛彬の写せしもの



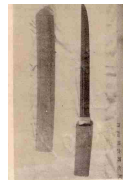
058弘誓寺住持



059阪上傅右衛門義駿の肖像



060古劔をまつれる御社



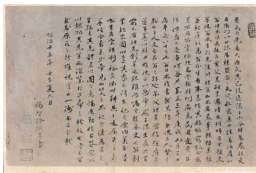
061広江貞氏が阪上家に持ち来りし父祖傳來の古劔 阪上田村麻呂佩刀也



062凌雲院肖像



063檀叢翁肖像



064檀叢院一代記



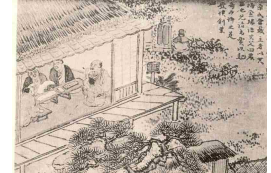
065翁が旧里に販りし家



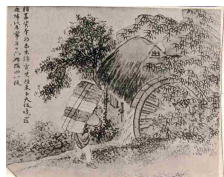
066七、八才頃正永寺へ手習いに通ふ



067資本なきを以て綿種子買ひをはじむ



068十三才の時父に乞ひ商賣を以て家を起さんとす



069十六才の時木綿商を始め暁に家出て、大阪に行き木綿をうり夜家に販るを常と



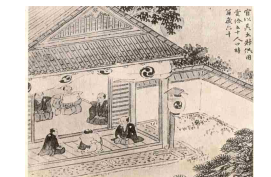
070二十才の時易者曰く、士とならば万石以上の大名とならんと



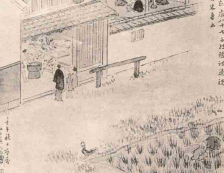
071三十才の時の醸酒業を始め後数年を経て搾油業をはじむ家益々富む



072元日の朝粥の中に油をこぼせし女中を叱らず、油を買(粥)への佳兆なりとて油を



073翁六十才の時財を州府に輸し民用にあつ、賞として五十人口を給ふ



074八十七才の時八十八歳才の祝をなす



075紫宸殿の畳表



076(文化十癸酉三月上旬京都御所紫宸殿御畳表)(裏書)



077山岡鉄舟の書



078白河法皇御行幸の御門



080天の火を取りたる巨松



081大森神社之図



083第二代の神主矢野趙氏



084九月廿七日祭礼に大森神社境内に、地車十三台集りたる壯観



085愚白之木像



086能登の総持寺出火の際注ぎし焼石



087愚白之書



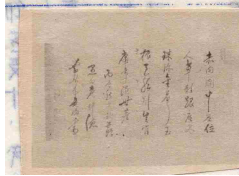
088支那曹洞嗣祖心越禪師支那へ皈の時愚白和尚長崎まで送り別るゝ時形見に



089成合寺



090木庵の書←



092月舟の書↑



093月舟の書←



094慈照寺の鐘



095慈照寺の山門



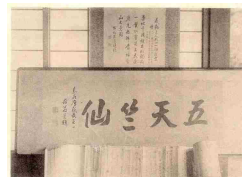
096七山病院全景【左】



097七山病院全景【右】



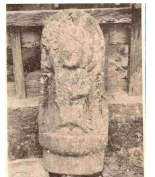
098本館正面



099貫名菘翁先生の書



100地藏菩薩の石像を安置せる小堂



101石像



102興正寺黙庵の墓石



103興正寺所蔵黙庵和尚の肖像彫刻



104雨山城の一閣を和田村に移し来迎寺の本堂を建つ



105藤原時代の作と云はれる和田村来迎寺の阿弥陀佛



106全上拡大せる写真



107全上屋根を行基葺にせし応永三十二年の鬼瓦【正面】



108全上屋根を行基葺にせし応永三十二年の鬼瓦【横】



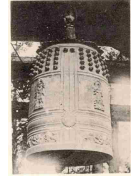
109来迎寺阿弥陀佛の傳説



110【行基瓦】



111鉄州和尚の墓石



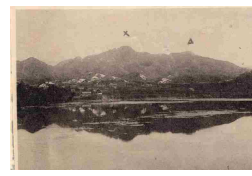
112金剛法寺の鐘



113まれくす堂



114まれくす堂内の石像



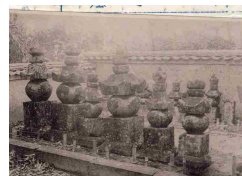
115成合村より雨山城の遠望



116雨山の頂上



118北林山 平福寺の鐘



119降井家墓碑



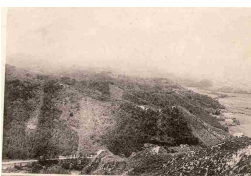
120(左)天文供養碑



121(右)天文十六年石地藏



122【弘法大師の作なる弁財天】



123【郷土の自然】



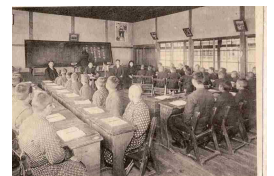
124青年団設立当時の五門支部員



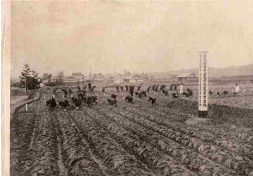
125神無月花壇開墾記念撮影



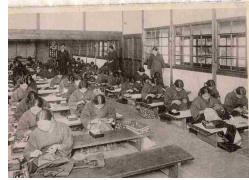
126前期男子部農業実習



127中公会



128公民女子部農業実習



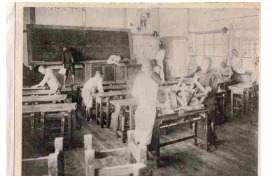
129公民女子裁縫実習



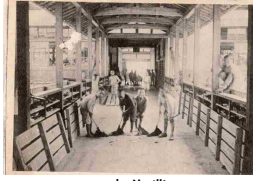
130中公後期割烹実習



131一斉作業 一



132一斉作業 二



133一斉作業 三



134全校職員児童朝会衆神宮並に宮城遥拝



135講堂内に於ける児童学習発表



136本校正門



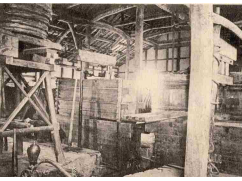
137御眞影奉安殿



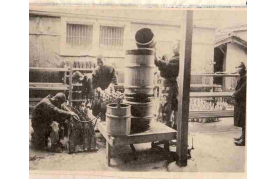
138義本酒店 醸造場



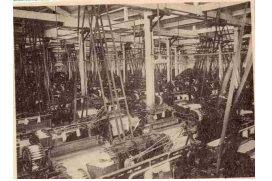
139全 発酵場



140全 搾取場



141全 繰詰場



142中林工場 機場



145全 仕上場



144全 チキリ場



145(盆踊一)



146(盆踊二)



147(秋祭の地車)



148(鐘楼)



150(大久保の中谷、籠谷に
掘り出せし鋤先)

〈有形文化財 歴史資料〉

名 称	旧熊取村道路元標	1 個
所 在 地	熊取町野田 1 丁目	
所 有 者	熊取町	
説 明		

道路元標は道路の起点・終点を示す柱で道路の付属物である。大正 8 年（1919）に旧道路法が制定され、同法施行令で道路元標の設置が法制化、各市町村に 1 個を設置することとされた。設置場所は府県知事が指定することとされており、ほとんどは市町村役場の前か市町村の中心となる主要な道路の交差点に設置されたようである。

熊取の場合、昭和 4 年に熊取村役場前に設置され、幅 25 cm、奥行 25 cm、高さ 58 cm、頂部が弧を描くように丸く削られている。花崗岩製で正面に「熊取村道路元標」、裏面に「昭和四年十一月建之」と刻字されている。

旧熊取村役場跡地前に現存しており、大阪府内には、岸和田市 1 個を数えるのみで、昭和 27 年の新道路法により設置義務や規定もなくなり、道路の起点・終点は道路元標と無関係となったことから、撤去されていった。

なお熊取村役場は、もとは大宮にある大森神社の社務所を役場として使用していたが、明治 44 年（1911）に村会で役場新築案が可決、野田に新しい役場が建設されることとなった。昭和 26 年（1951）11 月 3 日、町制施行により「熊取町」が誕生し、その後人口が増加したことに伴い、昭和 38 年（1963）4 月に新庁舎建設のはこびとなり、12 月に現在の場所（野田一丁目 1 番 1 号）に移転した。

道路元標が建てられた場所は、当時の熊取の中心を示すものであることから、熊取の歴史を知る上で貴重な資料といえる。



現状写真



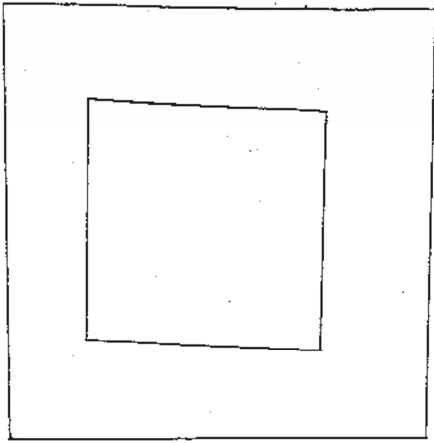
昭和20年代の写真（左下に道路元標が写る）



拓本

S=1/4

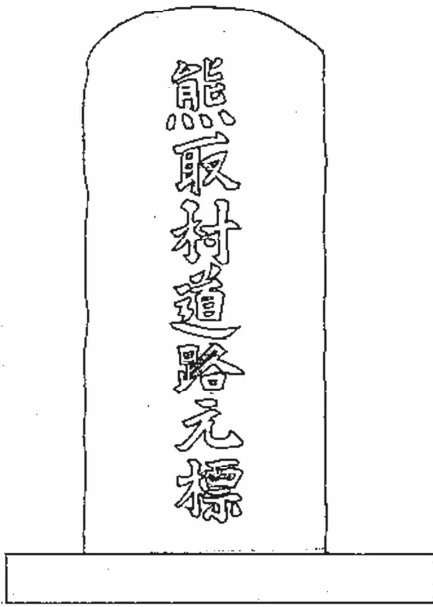
熊取村道路元標実測図



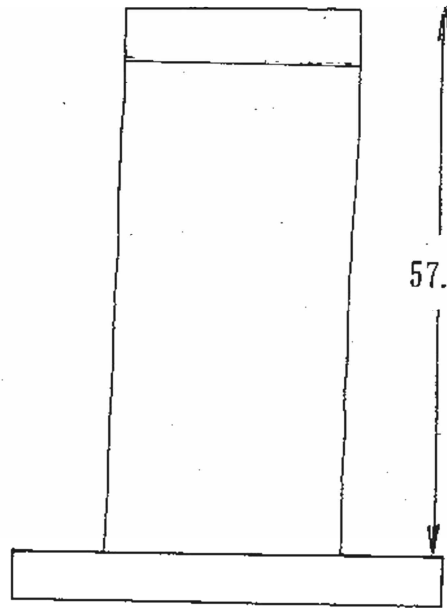
上面

S=1/8

25cm

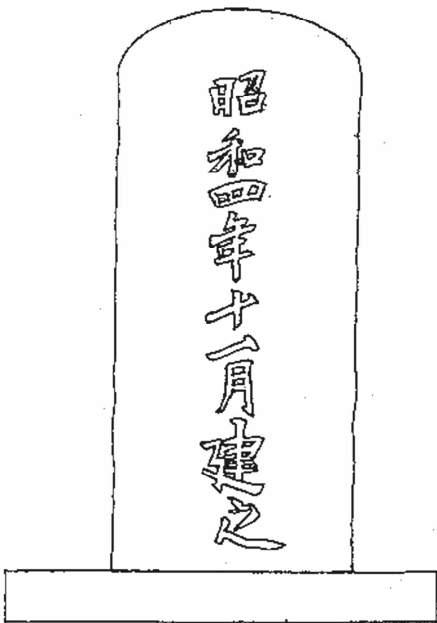


北面

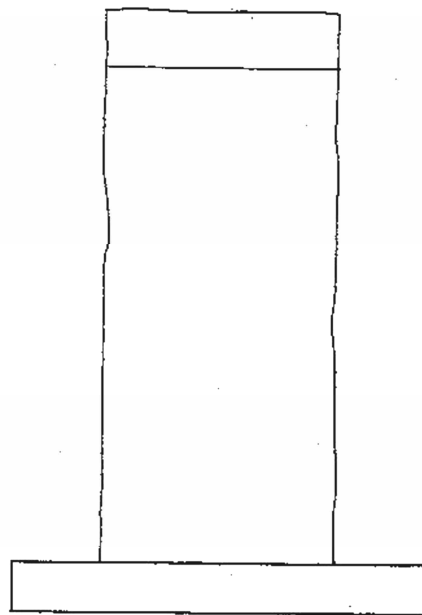


東面

土台 高さ 5cm



南面



西面

全国の道路元標の指定状況

指定区分	名称	所在地	材質	設置年代	指定年月日	文化財の種類	備考
市	大谷村道路元標	栃木県小山市	花崗岩	不明	H11	歴史資料	
町	黒磯町道路元標	栃木県那須塩原市	花崗岩	不明	H27	史跡	
町	上三川村道路元標	栃木県河内郡上三川(かみのかわ)町	花崗岩	不明	H20		
町	中之條町道路元標	群馬県吾妻郡中之條町	花崗岩	不明	S63	史跡	
町	川角村道路元標	埼玉県入間郡毛呂山(もろやま)町	花崗岩	不明	H23		
町	金澤村道路元標	埼玉県秩父郡皆野町	花崗岩	大正～昭和初期か	H26	史跡	
町	三澤村道路元標	埼玉県秩父郡皆野町	花崗岩	大正～昭和初期か	H26	史跡	
町	国神村道路元標	埼玉県秩父郡皆野町	花崗岩	大正～昭和初期か	H26	史跡	
市	中丸村道路元標	埼玉県北本市	花崗岩	大正～昭和初期か	H12	歴史資料	村名が道路元標の下で珍しい「道路元標 中丸村」
市	石戸村道路元標	埼玉県北本市	花崗岩	大正～昭和初期か	H12	歴史資料	
国	東京市道路元標	東京都中央区	金属の柱状	明治44年	H11	建造物	(重文) 日本橋の附指定
市	南郷村道路元標	千葉県山武市富口	花崗岩	大正～昭和初期か	S60		
町	奴奈川村道路元標	新潟県十日市町	花崗岩	大正8年	H4		
市	鎧郷村道路元標	新潟市	花崗岩	大正11年以降	H16		
市	曾根村道路元標	新潟市	花崗岩	大正11年以降	H16		
市	升潟村道路元標	新潟市	花崗岩	大正11年以降	H16		
市	大川谷村道路元標	新潟県村上市	花崗岩	大正時代	H26		
市	黒川俣村道路元標	新潟県村上市	花崗岩	大正時代	H26		
市	高根村道路元標	新潟県村上市	花崗岩	大正時代	H26		
市	三面村道路元標	新潟県村上市	花崗岩	大正時代	H26		
市	平林村道路元標	新潟県村上市	花崗岩	大正時代	H26		
市	橋本町道路元標	和歌山県橋本市	花崗岩	不明	H9		
村	読谷村道路元標	沖縄県読谷村	花崗岩	不明	H23		

熊取町周辺の道路元標の所在状況

	名称	所在地	備考
1	岸和田市道路元標	大阪府岸和田市本町6丁目 (岸和田市役所別館北角 本町郵便局前)	紀年刻字なし
2	橋本町道路元標	和歌山県橋本市橋本2丁目	



旧岸和田市道路元標



旧橋本町道路元標

〈有形文化財 歴史資料〉

名 称	太政官高札 2枚
	五榜の掲示（定三札） 1枚
	火付け高札 1枚
所在地	熊取町五門西1丁目
所有者	個人
説明	

太政官高札は明治政府の最高機関である太政官が布告した法令や禁令を示した高札であり、幾つかの種類がある。

「五榜の掲示」は、慶応4年（明治元年・1868）に新政府が発したもので、第一札は五倫道德遵守、第二札は徒党・強訴・逃散禁止、第三札は切支丹・邪宗門禁止、第四札は万国公法履行、第五札は郷村脱走禁止の五つの戒めを諸藩に出さしめたものである。

本町で見つかった2枚の太政官高札の内一枚は、五榜の掲示の第一札、第二札、第三札の「定」ではじまる「定三札」を1枚にまとめたもので、縦56cm、横120cmで明治2年「岸和田藩知事」により発給されたものである。また裏面には「熊取谷 上番 ■■ ■」（■■は判読不明）との墨書がある。

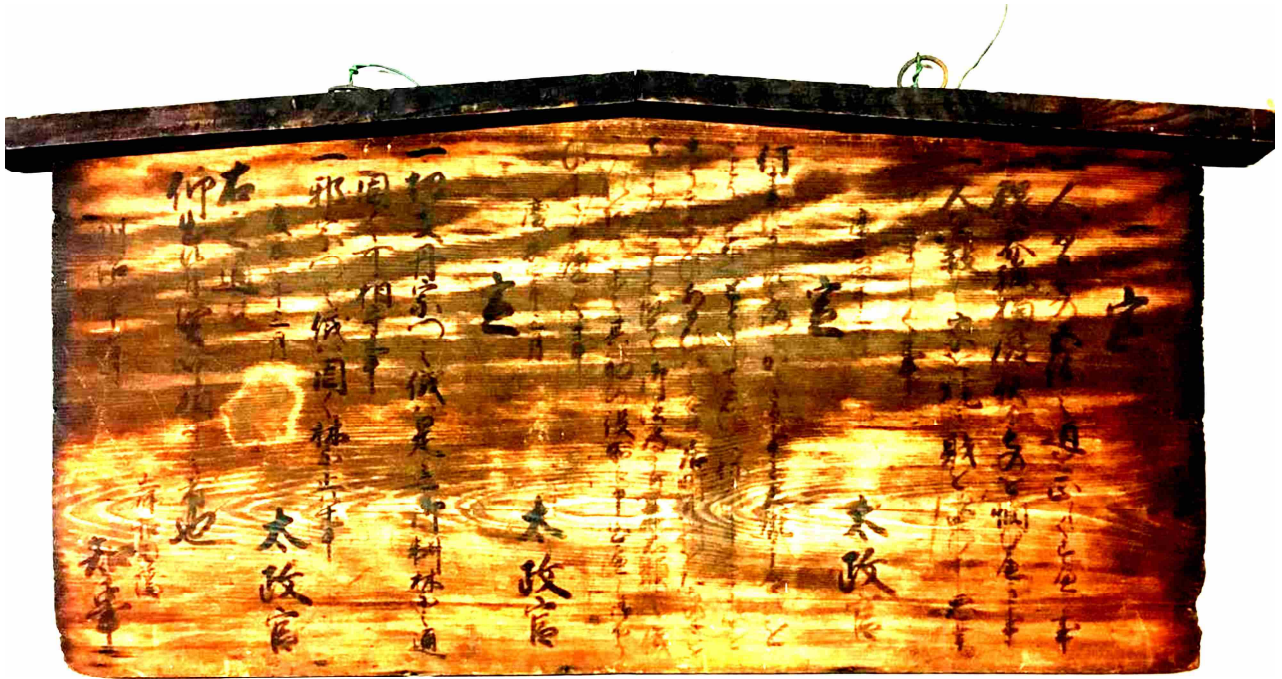
当時の岸和田藩知事は、最後の藩主岡部長職（ながもと）で明治2年6月に岸和田藩知事となり、明治4年7月には廃藩置県により藩が廃されており、知事としての期間は僅か2年ほどであることから、岸和田藩知事に関する資料としては貴重なものといえる。

もう一枚は、明治5年の太政官高札で縦34.5cm横97cmの「火付け高札」と呼ばれるもので、火付・盗賊・人殺し・贖金作りを取り締まる内容となっている。

五榜の掲示は明治6年2月24日、「一般熟知ノ事ニ付」との理由で廃止され、明治7年には高札の廃止が決定され各地の高札は完全に撤去された。

本町の2枚の高札は、来歴や掲出場所は不明であるが、町内の旧家より見つかったものであり、岸和田藩内ひいては熊取の江戸時代から近代への過渡期の資料として貴重なものである。

五榜の掲示（おもて）



定

一人たるもの五倫之道を正しくすへき事
 一 鰥寡孤獨癡疾のものを憫むへき事
 一人を殺し家を焼き財を盗む等之悪業
 あるましく事

慶應四年三月

太政官

定

何事によらずよろしからざる事を大勢申合候を
 ととうとなへとうしていてねかひ事くわたつを
 こうそといひあるひハ申合せ居町居村をたちのき候を
 てうさんと申し候て堅く御法度ニ付若右類之儀
 これあらハ早々其筋の役所江申出へし御ほう
 ひ下さるへく事

慶應四年三月

太政官

定

一切支丹宗門之儀ハ是迄御制禁之通
 固く可相守事
 一 邪宗門之儀ハ固く禁止候事
 慶應四年三月

太政官

右之通被

仰出候付堅可相守之者也

明治二年七月

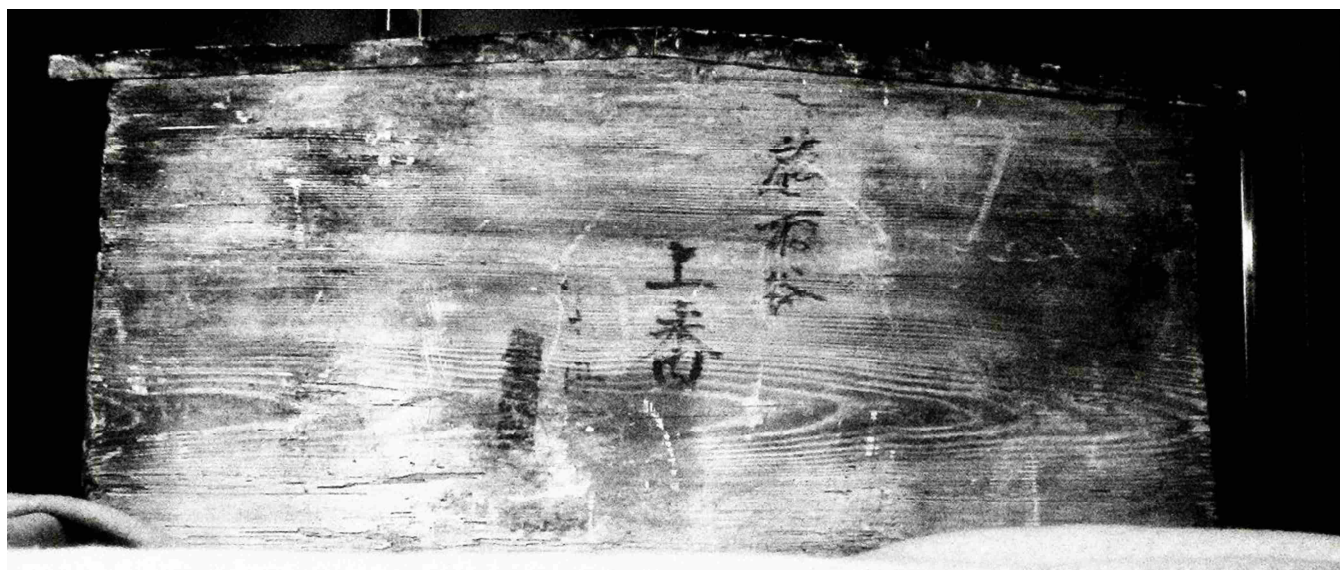
岸和田藩

知事

五榜の掲示（うら）



可視光撮影



赤外線撮影

熊取谷

上番



火付け高札（おもて）



一火付盗賊人殺或ハ

贋金札ヲ作り候者等見聞

次第早速其最寄之役所へ

召捕差出し又ハ訴出可申

候吟味之上相違無之候ハ

御褒美可被下候事

但召捕候節手疵ヲ負ヒ又ハ即死等之

□候得へ者厚ク御扶助可被下候訴人致し

□者引合之た免役所へ被召出候節職業向

迷惑不相成様相應御手当可被下候

□有体可申立候若隠置後日他より

□相顕る尔於て者曲事たる邊き事

明治五年 壬申

三月

太政官

大阪府内 太政官高札所在状況調査結果一覧

太政官高札が確認された市町村	個数	指定数	内容	発出年	発出者	大きさ	所有	備考
3豊能町	2	0	1 五榜の掲示第三札	慶応3年		未実測	個人	
			2 不明	慶応4年3月		未実測	町	
7茨木市	2	0	1 五榜の掲示第一札	慶応4年3月		W688・H313	市	
			2 五榜の掲示第二札	慶応4年3月		W691・H316	市	
8高槻市	11	0	1 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	青山主水	W955・H355	市	墨書「三」。富田村に出されたもの。
			2 五榜の掲示第一札	慶応4年3月	日向	W817・H349	市	墨書「摂州島上郡土室村」。日向の署名の上に「大阪府」木札貼付
			3 五榜の掲示第二札	慶応4年3月	日向	W814・H347	市	墨書「摂州島上郡土室村」。日向の署名の上に「大阪府」木札貼付
			4 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	日向	W816・H345	市	墨書「摂州島上郡土室村」。日向の署名の上に「大阪府」木札貼付
			5 五榜の掲示第四札	慶応4年3月	日向	W818・H238	市	墨書「摂州島上郡土室村」。日向の署名の上に「大阪府」木札貼付
			6 五榜の掲示第一札	慶応4年3月	日向	W822・H336	個人	墨書「冠村」
			7 五榜の掲示第一札	明治4年12月	京都府	W632・H335	市	樫田地区に出されたもの。
			8 五榜の掲示第二札	明治4年12月	京都府	W635・H341	市	樫田地区に出されたもの。
			9 五榜の掲示第三札	明治4年12月	京都府	W634・H333	市	樫田地区に出されたもの。
			10 五榜の掲示第一札	慶応4年3月	大坂府	W678・H427	市	
			11 五榜の掲示第二札	慶応4年3月	大坂府	W679・H425	市	
11摂津市	4	0	1 (忠孝制札)	(天和2年5月)	不明	W1000・H800	個人	全体的に墨が消えているため読み取り困難
			2 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	高槻藩	W500・H500	個人	
			3 五榜の掲示第四札	慶応4年3月		W500・H500	個人	
			4 五榜の掲示第五札	慶応4年3月		W500・H500	個人	
12枚方市	4	0	1 五榜の掲示第一札	慶応4年3月	堺県役所	W885・H495	個人	
			2 五榜の掲示第二札	慶応4年3月	堺県役所	W885・H490	個人	
			3 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	堺県役所	W885・H495	個人	
			4 五榜の掲示第一札	慶応4年3月	堺県役所	W970・H475	市	
16門真市	5	0	1 五榜の掲示第一札	慶応4年3月	堺県役所	W79.5・H47.5	市	
			2 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	堺県役所	W79.5・H47.5	市	
			3 五榜の掲示第一札	慶応4年3月	堺県役所	W59・H39.5	市	
			4 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	堺県役所	W76.5・H41	市	
			5 火付盗賊殺人贖金作りの禁高札	明治5年3月		W93.5・H38.5	市	
21柏原市	6	0	1 五榜の掲示	慶応4年		W850・H380	個人	
			2 五榜の掲示	慶応4年		W860・H400	個人	
			3 五榜の掲示	慶応4年		W920・H280	個人	
			4 不明	不明	御役所	W920・H280	個人	墨書した紙の貼付け
			5 五榜の掲示	慶応4年	堺県役所	W840・H480	個人	
			6 五榜の掲示	慶応4年	堺県役所	W840・H480	個人	
22松原市	2	0	1 火付盗賊殺人贖金作りを禁じる高札	明治5年3月		W970・H370	個人	
			2 覚	明治5年3月		W1140・H410	個人	
24藤井寺市	2	0	1 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	沢田藩知事	未実測	個人	
			2 五榜の掲示第一札	明治5年3月		未実測	個人	
30河内長野市	34	0	1 五榜の掲示第二札	慶応4年3月	五條懸懸	W697・H466	個人	
			2 五榜の掲示第二札	慶応4年3月		W517・H390	市	墨書「小塩村」「尺七寸」
			3 五榜の掲示第二札	慶応4年3月		W525・H349	市	
			4 五榜の掲示第二札	慶応4年3月		W480・H390	個人	
			5 五榜の掲示第二札	慶応4年3月		W610・H405	市	
			6 五榜の掲示第二札	慶応4年3月		W424・H360	河合寺	
			7 五榜の掲示第五札	慶応4年3月		W425・H380	河合寺	
			8 五榜の掲示第四札	慶応4年3月		W775・H412	市	墨書「小塩村」
			9 五榜の掲示第四札	慶応4年3月		未実測	個人	所在不明
			10 五榜の掲示第四札	慶応4年3月		W528・H350	市	使用場所 石見川
			11 五榜の掲示第四札	慶応4年3月		W485・H390	個人	
			12 五榜の掲示第四札	慶応4年3月		W638・H386	河合寺	墨書「河合寺」

太政官高札が確認された市町村	個数	指定数	内容	発出年	発出者	大きさ	所有	備考			
			13 五榜の掲示第一札	慶応4年3月		W662・H327	個人	墨書「一 寺元村」			
			14 五榜の掲示第一札	慶応4年3月		未実測	個人	所在不明			
			15 五榜の掲示第一札	慶応4年3月		W528・H349	市	使用場所 石見川			
			16 五榜の掲示第一札	慶応4年3月	膳所懸	W616・H329	個人	墨書「一」「片添村」			
			17 五榜の掲示第一札	慶応4年3月		W653・H393	個人	墨書「一 清水村」			
			18 五榜の掲示第一札	慶応4年3月		W660・H397	個人	墨書「一 流谷」			
			19 五榜の掲示第一札	慶応4年3月		W425・H360	河合寺				
			20 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	神戸懸	W6660・H390	個人	墨書「三 寺元村」			
			21 五榜の掲示第三札	慶応4年3月		W635・H390	個人				
			22 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	堺懸役所	W635・H340	市	墨書「小塩村」「尺七寸」			
			23 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	堺懸役所	未実測	個人	所在不明			
			24 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	堺懸役所	W528・H353	市				
			25 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	膳所懸	W455・H305	個人	墨書「三 片添村」			
			26 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	堺懸役所	W423・H358	河合寺				
			27 五榜の掲示第一札	慶応4年3月	五條懸	W820・H485	観心寺	墨書「貳」			
			28 五榜の掲示第二札	慶応4年3月	五條懸	W820・H488	観心寺	紙張り「堺條懸」「三枚之内 観心寺」 墨書「壹」			
			29 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	五條懸？	W822・H485	観心寺	紙張り「堺條懸」「三枚之内 河内観心寺」 墨書「壹」			
			30 不埒者取締	明治3年7月	膳所懸	W634・H460	個人	墨書「片添村」			
			31 不埒者取締	明治3年7月	膳所懸	W632・H357	個人				
			32 不埒者取締	明治3年7月	膳所懸	W635・H351	市	墨書「上原村」			
			33 火付盗賊殺人贖金作りを禁じる高札	明治5年3月		W966・H454	市				
			34 五榜の掲示第二札	慶応4年		直径約59cm	市	円形に加工（桶に転用か）			
			31堺市	5	0	1 五榜の掲示第一札	明治2年3月	堺県役所	W564・H453	市	墨書「摂津国住吉郡南遠里小野村」
						2 五榜の掲示第三札	慶応4年3月	堺県役所	W785・H387	市	墨書「河内国渋川郡南鞍作村」
						3 五榜の掲示第四札	年号不明3月		W975・H457	市	墨書「八田庄堀上■」
						4 五榜の掲示第三札	慶応4年6月	堺県役所	W988・H505	市	
						5 五榜の掲示第二札	慶応4年6月	堺県役所	W940・H490	市	
			32和泉市	10	0	1 五榜の掲示第一札	慶応4年		W635・H370	個人	
						2 五榜の掲示第二札	慶応4年3月		W964・H385	個人	
						3 五榜の掲示第三札	慶応4年3月 ※閏4月4日以降	堺県役所	W615・H365	個人	
						4 五榜の掲示第三札	慶応4年3月 ※閏4月4日以降	堺県役所	W966・H416	市	
						5 五榜の掲示第一札	慶応4年6月	堺県役所	W906・H422	個人	
						6 五榜の掲示第二札	慶応4年6月	堺県役所	W950・H428	個人	
						7 火付盗賊殺人贖金作りを禁じる高札	不明	不明	W963・H365	個人	
8 五榜の掲示第三札	慶応4年3月 ※閏4月4日以降	不明				W878・H約400	個人				
9 火付盗賊殺人贖金作りを禁じる高札	明治5年3月	堺県？				W966・H358	個人				
10 不明	不明	吉見県				未実測	個人				
33高石市	1	0	1 五榜の掲示第四札	慶応4年3月		未実測	個人				
37貝塚市	5	0	1 五榜の掲示第一札	慶応4年3月		W765・H470	願泉寺				
			2 五榜の掲示第二札	慶応4年3月		W785・H480	願泉寺				
			3 五榜の掲示第三札	不詳	岸和田藩知事	W1045・H520	市				
			4 五榜の掲示第一札第二札第三札の合札	慶応4年3月	岸和田藩知事	未実測	個人	旧南郡麻生郷鳥羽村の庄屋が保管してきたもの			
			5 五榜の掲示第一札第二札第三札の合札	明治2年7月		W1064・H540	栴谷町会				
38熊取町	2	0	1 五榜の掲示第一札第二札第三札の合札	明治2年7月	岸和田藩知事	W1200・H560	個人				
			2 火付盗賊殺人贖金作りを禁じる高札	明治5年3月		W97・H34.5	個人				
41泉南市	4	0	1 五榜の掲示第四札	明治5年3月		W900・H390	個人				
			2 五榜の掲示第五札	明治5年3月		W900・H390	個人				
			3 火付盗賊殺人贖金作りを禁じる高札	明治5年3月		未実測	個人				
			4 五榜の掲示第一札第二札第三札の合札	明治2年7月	岸和田藩知事	未実測	個人				
合計	95	0									

太政官高札(五榜の掲示) 全国市町村指定の状況

市町村名	種別	文化財名	員数	指定(登録)年月日	所有者	備考
秋田県 能代市	有形文化財	太政官布告高札 五榜の掲示 (第三札を除く)				
宮城県 栗原市	有形文化財 歴史資料	五榜の掲示 高札	1	平成16年9月21日	個人	
東京都 足立区	登録有形文化財 歴史資料	五榜の掲示	一札	平成2年1月12日		
東京都 江東区	登録有形文化財 歴史資料	太政官高札		昭和60年3月25日	個人	
千葉県 印西市	有形文化財 歴史資料	高札(五榜の掲示)	3基	平成17年7月6日	個人	
千葉県 鎌ヶ谷市		高札「慶応四年太政官布告」		昭和52年7月	個人	
千葉県 富里市	有形文化財 美術工芸品	太政官高札	6			
千葉県 山武市		明治元年の「五榜の高札」	3	昭和60年12月27日		
埼玉県 さいたま市	有形文化財 歴史資料	太政官高札(五榜の掲示)	1面	平成8年6月20日	個人	
埼玉県 川口市	有形文化財 歴史資料	五榜の掲示(五倫の道遵守等)	1面	昭和58年4月1日	個人	
埼玉県 熊谷市	有形文化財 歴史資料	旧千代村 高札	5	昭和32年10月18日		うち3枚が太政官高札
埼玉県 白岡市	有形文化財 歴史資料	新井新田の高札(五榜の掲示(定三札))	5枚	昭和56年11月1日	白岡市	うち2点は江戸期のもの(天和2年、明和7年)
埼玉県 上尾市	有形文化財 歴史資料	五榜の高札	5枚	昭和56年3月31日	個人	第一札～第五札
埼玉県 ふじみ野市	有形文化財 古文書	太政官布告の高札	4			
栃木県 那珂川町	有形文化財 書籍	太政官高札	3枚	昭和52年3月17日	別雷神社	
石川県 能美市	有形文化財 歴史資料	五榜の掲示 第四札	1	昭和61年8月2日	能美市	
長野県 箕輪町	有形文化財 歴史資料	上古田の制札	7枚	昭和46年12月4日	個人	
愛媛県 伊予市	有形文化財 歴史資料	キリシタン禁制高札	1枚	平成3年10月23日	キリスト教団 郡中教会	
鹿児島県 曾於市	歴史資料	太政官高札	2枚	平成30年3月20日		
重要文化財	美術品 歴史資料	大津百艘船関係資料	1237	平成30年10月31日	大津市	うち13点が高札でうち1点が太政官高札(内容は不明だがおそらく大津からの輸送に関する独占の特権が与えられたことを示すもの)

五榜の揭示

第一札

- 一 人タルモノ五倫ノ道ヲ正シクスヘキ事
- 一 鰥寡孤獨癡疾ノモノヲ憫ムヘキ事
- 一 人ヲ殺シ家ヲ焼キ財ヲ盗ム等ノ惡業アル間敷事

第二札

何事ニ由ラス宜シカラサル事ニ大勢申合セ候ヲ徒黨ト唱ヘ徒黨シテ強テ願ヒ事企ルヲ強訴トイヒ或ハ申合セ居町居村ヲ立退キ候ヲ逃散ト申ス堅ク御法度タリ若右類ノ儀之レアラハ早々其筋ノ役所ヘ申出ヘシ御褒美下サルヘク事

第三札

- 一 切支丹邪宗門ノ儀ハ堅ク御制禁タリ若不審ナル者有之ハ其筋之役所ヘ可申出御褒美可被下事
- (改正)
- 一 切支丹宗門之儀ハ是迄御制禁之通固ク可相守事
 - 一 邪宗門之儀ハ固ク禁止候事

第四札

今般 王政御一新ニ付 朝廷ノ後條理ヲ追ヒ外國御交際ノ儀被 仰出諸事於 朝廷直ニ御取扱被爲成萬國ノ公法ヲ以條約御履行被爲在候ニ付テハ全國ノ人民 叡旨ヲ奉戴シ心得違無之様被 仰付候自今以後猥リニ外國人ヲ殺害シ或ハ不心得ノ所業等イタシ候モノハ 朝命ニ悖リ御國難ヲ醸成シ候而已ナラス一旦 御交際被 仰出候各國ニ對シ 皇國ノ御威信モ不相立次第甚以不届至極ノ儀ニ付其罪ノ輕重ニ随ヒ士列ノモノト雖モ削士籍至當ノ典刑ニ被處候條銘々奉朝命猥リニ暴行ノ所業無之様被 仰出候事

第五札

王政御一新ニ付テハ速ニ天下御平定萬民安堵ニ至リ諸民其所ヲ得候様 御煩慮被爲 在候ニ付此折柄天下浮浪ノ者有之候様ニテハ不相濟候自然今日ノ形勢ヲ窺ヒ猥ニ士民トモ本國ヲ脱走イタシ候儀堅ク被差留候萬一脱國ノ者有之不埒ノ所業イタシ候節ハ主宰ノ者落度タルヘク候尤此御時節ニ付無上下 皇國ノ御爲又ハ主家ノ爲筋等存込建言イタシ候者ハ言路ヲ開キ公正ノ心ヲ以テ其旨趣ヲ盡サセ依願太政官代ヘモ可申出被 仰出候事 但今後總テ士奉公人不及申農商奉公人ニ至ル迄相抱候節ハ出處篤ト相糺シ可申自然脱走ノ者相抱ヘ不埒出來御厄害ニ立至リ候節ハ其主人ノ落度タルヘク候事

貝塚市



第一札



第二札



第三札



第一・二・三札



第1・2・3札

茨木市



堺市



第一札



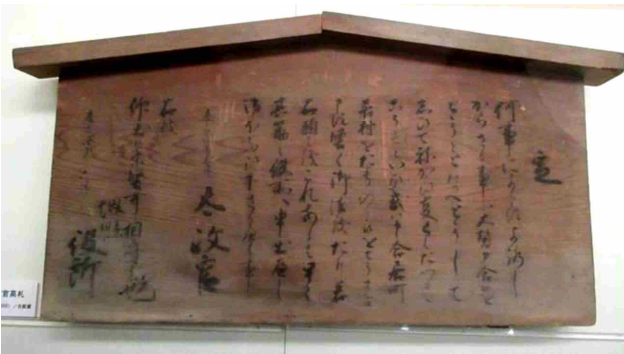
第三札



第四札



第三札



第二札

豊能町



第二札

【案件2】 令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について

1. 町内指定文化財の状況

種類	国指定	大阪府指定	熊取町指定
建造物	3		1
史跡	1		1
名勝			1
天然記念物		1	1
考古資料			2
有形民俗文化財			3
彫刻			1
計	4	1	10

※令和3年度の新規指定物件は無し

2. 令和3年度事業報告

(1)文化財保護審議会の開催

開催なし

(2)重要文化財降井家書院保存修理事業

令和2年6月1日に国庫補助事業として交付決定を受け工事を開始した、茅葺き屋根の葺替工、その他補修工については、令和3年5月31日に完了した。

また、障壁画の修復については、令和3年2月26日に文化庁の計画変更が承認され、令和3年3月に入札により株式会社岡墨光堂と事業主降井氏との間で請負契約が締結され、本格的な保存修理工事に取り掛かった。なお、修理は一旦すべて書院から取り外したうえで(25枚)、請負者の工房がある京都国立博物館敷地内に所在する文化財保存修理所に運ばれ作業が行われている。

事業期間 令和2年6月1日～令和4年12月31日

総事業費 78,370,000円(内R2:31,740,000円、R3:25,458,000円、R4:21,172,000円)

工事内容 茅葺き屋根面葺き、不陸調整、畳表替え、建具補修、障壁画等の補修



屋根葺き替え前



屋根葺き替え後



違棚の壁貼付絵の撤去状況（令和3年5月）



違棚の壁貼付絵の撤去状況（令和3年5月）



障壁画補修状況（剥落止め）（令和3年6月～）



障壁画補修状況（解体）（令和3年6月～）



障壁画補修状況（仮裏打ち）（令和3年6月～）



障壁画補修状況（クリーニング）（令和3年6月～）

(3)埋蔵文化財発掘調査事業

確認調査7件、立会調査3件、試掘調査7件を実施した（2月18日現在）。いずれも小規模な開発や住宅等の建設に伴うもので、本調査を行ったものはなく、特筆すべき発見等はなかった。

(4)文化財保護事業

文化財保護法の改正により市町村においては「文化財保存活用地域計画」（市町村の文化財の保存活用に関するアクションプランといえるもの）を作成することができるようになった。本

町においても早期の作成を目指し、現在、指定、未指定を問わず文化財のリストアップを行い、各種調査資料の再整理に取り組んでいる。

(5)重要文化財中家住宅一般公開事業

通常どおり一般公開を行ったが、コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が発出等により、4月25日から6月20日まで一般公開を休止した。

月 年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H29	459	812	195	720	52	279	429	2,412	916	342	107	308	7,031
R2	休館	82	187	160	60	124	308	856	92	54	227	254	2,437
R3	78	休館	24	165	45	137	522	191	72	50	97		1,381

H30.9.5～R2.3.31 まで台風被害による臨時休館
R2.4.1～R2.5.15 までコロナウイルスによる臨時休館

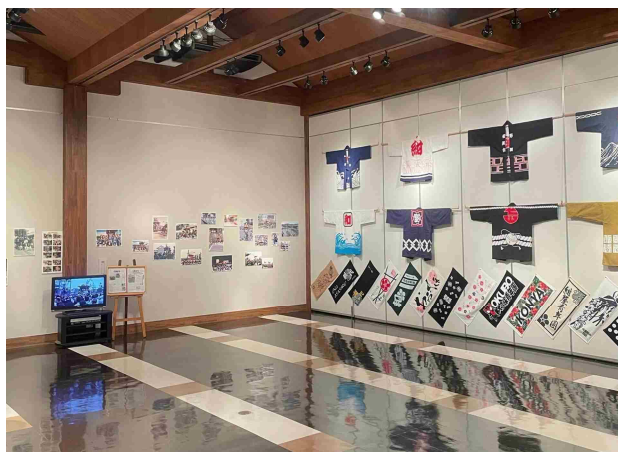
(6)普及啓発事業

熊取交流センター（煉瓦館）において、春の企画展として、これまで本町に寄贈いただいた文化財資料や絵画などの美術作品の紹介を行う「寄贈品展」を9月1日～13日（当初5月の開催を予定していたがコロナウイルス感染症拡大のため延期した。）の間で開催した。（自由入場）

また令和3年が本町の町制施行70周年の節目に当たることから秋の企画展として「くまどりだんじりミュージアム」と題し、昔からのだんじり祭りの変遷など様々なだんじりに関する資料の展示を9月18日～10月17日の間で行った。（来場者数：581人）



寄贈品展（クラシックカメラほか）



くまどりだんじりミュージアム

3. 令和4年度事業計画

(1)文化財保護審議会

審議案件に鑑み適宜開催する。

(2)重要文化財降井家書院保存修理工事

引き続き、障壁画等の補修作業が行われ、工期は令和4年12月までとなっている。

また併せて修復工事の様子を広報するため町のホームページで情報発信するとともに、所有者、大阪府協力のもと写真展などを開催する。

(3)文化財保護事業

①計画的に適切な文化財の保護を図るため、指定候補のリストアップ（別添資料）を行っており、継続してリストアップに努めるとともに不足している情報については適宜調査を進め、指定を行うなどの措置に取り組む。特に令和4年度は国の登録文化財（建造物）の候補のリストアップに努める。

また併せて前記リストアップを活かし、「熊取町文化財保存活用地域計画」の作成に向けて取り組みを進めていく。

②国庫補助事業である地域の伝統行事等のための伝承事業として、町内の大宮区、大久保区のだんじり及び懸装品等の修理事業を行う。

③重要文化財降井家書院に関連して、現在、大阪府と熊取町とで降井家主屋の重文指定に向けて調査等を開始しており、指定に向けて取り組みを進める。

(4)埋蔵文化財発掘調査事業

引き続き開発業者等に対して適正な指導を行い、発掘調査などを実施していく。

本年度から熊取町町民会館ホールの建替工事を予定しており、建設地が周知の遺跡「東円寺跡」*内であり、重要な遺構、遺物の検出が想定されることから、本発掘調査を実施する。

※東円寺は、現熊取町役場の南側に所在した平安時代末期の建立とされる寺院。これまでの発掘調査では寺院跡は出土していないが、周囲には鎌倉期の建物跡が多数検出されており、ここから出土した瓦を「東円寺跡出土瓦」として町指定文化財に指定している。

(5)重要文化財中家住宅一般公開事業

引き続き一般公開を行うとともに、普及啓発事業の一環として落語寄席、コンサート、能楽体験事業を開催する。

(6)普及啓発事業

熊取交流センター（煉瓦館）において企画展として国史跡土丸・雨山城跡を紹介する「土丸・雨山城跡写真展」、降井家書院保存修理工事の内容等を紹介する「降井家書院展」、その他「熊取の歴史と文化展」と題した展示会を開催する。

その他、埋蔵文化財発掘調査の成果を見ていただくミニ展示を行う。

文化財指定候補物件にかかる調査・整理計画(案)

種別	候補物件	物件の概要	所有者 (管理者)	所在地	目標	調査・整理 事項	根拠・出展	備考	
1	建造物	降井家主屋		降井氏	大久保	国	平面図作成、類例調査		
		大森神社舞台	天保年間か	大森神社	七山	国・府指定	類例調査等	H17建物調査	
		七山青少年センター	昭和9年建築、設計:山本茂	熊取町(七山区)	七山	国登録	平面図作成、評価報告		今後、登録候補の悉皆調査の実施が必要
		七里邸		七里氏	七山	国登録	平面図作成、評価報告		
		大宮橋	昭和6年竣工	国(大阪府)	大宮	町指定	平面図・立面図作成、類例調査		明治7年の英国製ポニーワーレントラスの転用か
2	絵画	現在、未調査のため今後調査が必要							
3	彫刻・石造物	石造 宝篋印塔	明徳2年(1391)		成合寺墓地	町指定	実測、拓本、類例調査	S54石造物調査	町内最古の宝篋印塔
		石造 五輪卒塔婆	応永3年(1396)		朝代共同墓地	府・町指定	〃	〃	府下唯一か
		石造 一隻五輪塔	大永6年(1526)		大久保共同墓地	町指定	〃	〃	町内最古の一石五輪塔
		石造 里井浮丘筆塚	中庄湊(泉佐野市)の豪商	法禪寺	大久保	町指定	拓本・立面図採取済	〃	賞名海屋によるもの
		青面金剛石像	貞享3年銘(1686)	法禪寺	大久保	町指定	実測、拓本	〃	町内最古の青面金剛像
		青面金剛庚申板碑	文禄5年(1596)		大久保共同墓地	府・町指定	〃	〃	青面金剛庚申と刻されるものでは日本最古か
		石造 無縫塔	寛文元年(1661)		小垣内共同墓地	町指定	〃	〃	町内最古の無縫塔
		鉄州和尚の墓	延宝9年(1681)		大宮	町指定	〃	〃	拾遺泉州志に詳細あり
		愚白和尚の墓	元禄15年(1702)		成合寺墓地	町指定	〃	〃	
		石造 六観音	寛保3年(1718)		七山共同墓地	町指定	〃	〃	町内最古の六観音
		石造 六地藏	元禄2年(1689)		小垣内共同墓地	町指定	〃	〃	町内最古の六地藏
		石造 まれくす地藏	享保5年(1720)		和田	町指定	〃	〃	拾遺泉州志に詳細あり
		石造 七里家の灯籠	元禄2年(1689)	七里氏	七山	町指定	〃	〃	町内最古の灯籠
		石造 五十四名座の灯籠	元禄16年(1703)	大森神社	大宮	町指定	〃	〃	大森神社の宮座
		石造 上の宮明神の石祠	寛永14年(1637)	法願寺	朝代	町指定	〃	〃	町内最古の石祠
		石造 手洗石	享保9年(1724)	法願寺	朝代	町指定	〃	〃	町内最古の手洗石
		石造 百度石	安政2年(1855)	大森神社	大宮	町指定	〃	〃	町内最古の百度石
		石造 力石	明治37年(1904)			町指定	〃	〃	町内最古の力石
		石造 里程標	応永3年(1396)			町指定	〃	〃	町内最古の道しるべ
		石造 高田の金毘羅講供養塔	天保6年(1835)		高田	町指定	〃	〃	町内最古の金毘羅講供養塔か
		石造 大峰講供養塔	大正3年(1914)		朝代	町指定	〃	〃	町内最古の大峰講供養塔か
		石造 無縁塔	宝暦11年(1761)		五門・紺屋共同墓地	町指定	〃	〃	町内最古・唯一の無縁塔
		石造 一字一石塔	延享2年(1745)		小谷	町指定	〃	〃	町内最古の一字一石塔尾
石造 大畑村の領界石	室町時代か	降井氏	大久保	町指定	〃	〃	降井家所蔵		
石造 辻の井の碑		興蔵寺	小谷	町指定	〃	〃	高蔵寺城主討死の場所		
木造 薬師如来像		法禪寺	大久保	町指定	実測、類例調査		所有者が否定的		
木造 阿弥陀如来座像		来迎寺	和田	町指定	〃		所有者が否定的		
4	工芸品	現在、未調査のため今後調査が必要							
5	書跡 典籍 古文書	降井家関係文書		降井氏	大久保	府・町指定	目録作成		降井家文書の総合調査が必要。そのうえで一括指定の検討
		『かりそめのひとりごと』	中盛彬著作	降井氏	大久保	府・町指定			
		『先代考拠略』	中盛彬著作	降井氏	大久保	府・町指定			
		『家記』	中盛彬著作	降井氏	大久保	府・町指定			
	浄見寺(爽神堂)関係文書		浄見寺	七山	町指定	目録作成、写真撮影		資料本(町史外題)あり	
6	考古資料	現在、未調査のため今後調査が必要							

	種別	候補物件	物件の概要	所有者 (管理者)	所在地	目標	調査・整理 事項	根拠・出展	備考
7	歴史資料	太政官高札		個人	五門西	町指定	類例調査済		布引元委員による読下あり
		道路元標	昭和4年銘	熊取町	野田1丁目23番38号先	町指定	類例調査、拓本採取済		
		熊取村志関係資料		熊取町、個人	煉瓦館	町指定	類例調査		
		ガラス乾板写真一括		熊取町	煉瓦館	町指定	類例調査、クリーニング、デジタル化		水銀の酸化等経年変化があるので、早めの保存処理が望ましい。
8	無形文化財								
9	有形民俗 文化財								
10	無形民俗 文化財	八朔祭	雨山山頂の雨山神社にて祈願	成合区	大字野田	町指定	映像記録、類例調査		
		熊取だんじり祭り				町指定	映像記録、類例調査		
		薬師座（モミナ座）		法禅寺	大久保	町指定	映像記録、類例調査		
11	史跡	中林綿布工場跡	明治41年創業	熊取町	五門西・紺屋	町指定	測量、来歴調査		
		熊取村役場跡	明治45年？～昭和38年	熊取町	野田	町指定	測量、来歴調査		昭和2年改築落成記念写真あり
12	名勝	七里邸庭園		七里氏	七山	国登録	測量、来歴調査		
13	天然 記念物	現在、未調査のため今後調査が必要							
14	文化的景観								
15	伝建地区								